

《ソウル歴史散歩》

チョンノ (鐘路) 交差点界限

足立 龍枝

1980年代のソウル旅行は、チョンノのYMCAホテルを定宿にして、地下鉄・市内バス・徒歩で動き回っていた。

金達寿さんのセミナーには、チョンノのやくざが登場する。ドラマ「野人時代」と重なり、今でもチョンノへ行くと懐かしい雰囲気になってしまう。以下は、1~2時間コースです。いかがですか。

① 普信閣

現在は、前の広場で組合等の都心集会が開かれていることが多い。かつて、タプコル公園前で開かれていた集会が移動してきたようだ。狭い場所だが、1000人集会も行われた。集会時には、機動隊のバスが、チョンノの通りで待機している。



李氏朝鮮時代は、朝夕に鐘が鳴らされ、鐘の合図で4大門(東西南北)が開閉された。

鐘楼では、大晦日に除夜の鐘が33回鳴らされる。夕方からチョンノは車乗り入れ禁止、狭いところに超満員の群衆。YMCAホテルに泊まっていた翌朝、私は前夜混雑した後を見に行った。路上に駐車していた車の上に乗って見物した人が多くいたのだろう。どの車もボコボコにされていた。(25年前)

あまり気がつかないようだが、普信閣の前にいくつかの碑がある。一つが「斥和碑」はここに建てられたという碑Dである。碑には「洋夷侵犯 非戦則和 主和売国」(外国の侵略にはあくまでも戦う、戦わないものは売国奴だ)と刻まれている。大院君の鎖国攘夷政策は、朝鮮の近代化を遅らせたとも言われている。

現在見つかっている「斥和碑」は、A釜山博物

館屋外、B機張・大辺初等学校海岸側フェンス沿い(写真)、C「沃川オクチョン」、Dソウル普信閣、E 慶南咸陽郡上林公園内に保存。



② チョンノタワー (和信百貨店)

民族資本(朴興植氏)で建てた百貨店(1937~1987)。1980年代には閉店していたが、建物は残っていた。

下の写真は、ドラマ「野人時代」のトップ背景に毎回登場する場面。富川市の撮影村で写したもの。



チョンノタワーの33階「雲の上レストラン」で好評なのは、ランチバイキング38,500W。金曜日はサラリーマンで満員。予約が必要。展望だけする場合は、33階の広いトイレからも充分楽しめる。

③ 農協銀行 (朝鮮中央日報社屋)

写真~★印の碑に、歴史が刻まれている。それによると、



この建築物は、1926年7月5日に新築された日帝統治下、東亜日報・朝鮮日報とともに民間三大新聞の一つだった朝鮮中央日報の社屋として使用された建物である。

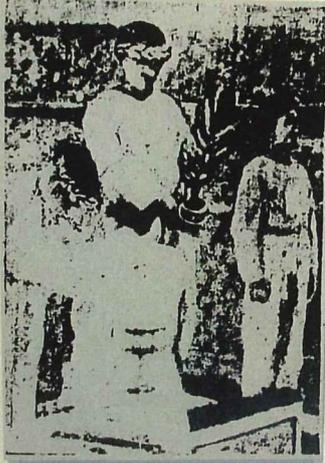
朝鮮中央日報は、独立運動家である「榴亭・趙

東ホ」の後援で「夢陽・呂運亨」が社長に就任した後、1936年8月13日付の新聞に、ベルリンオリンピック・マラソン優勝者である孫基禎選手の写真を、日章旗を消して載せた事件で、東亜日報と共に停刊処分を受けた。1937年に廃刊

＊農協銀行の換金窓口に行くと「新世界」さんがいます＊「新世界」さん？実は「申世界」さんでしたが、アボジが語呂合わせで命名したとか。

…以下

식별되지 않았다가 동아일보와 함께 뒤늦게 문제가 되어 자진휴간에 들어갔다. 동아일보는 이듬해 6월에 복간했으나 조선중앙일보는 재정 악화로 끝내 문을 닫았다.



조선중앙일보
1936.8.13



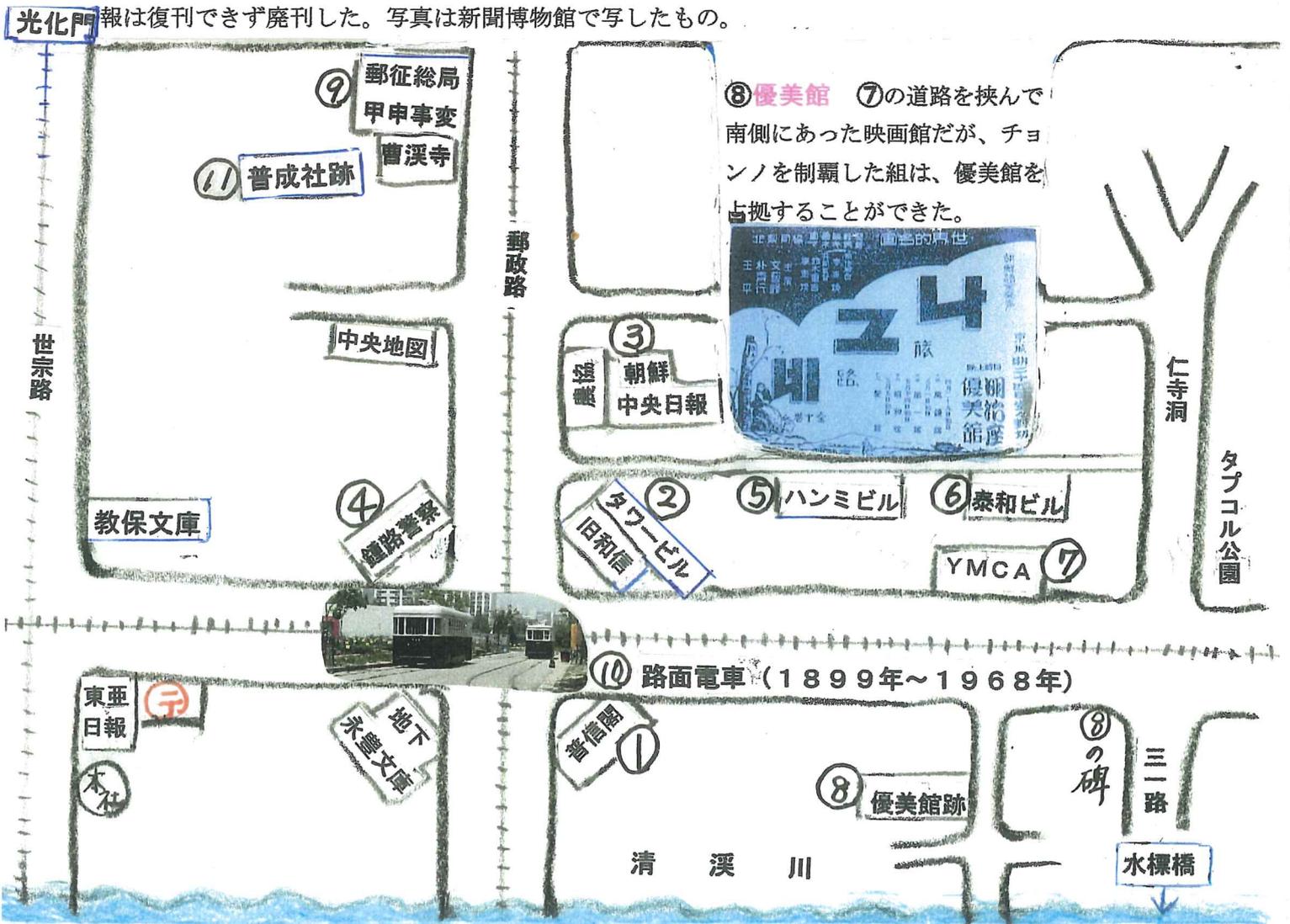
'명예의 우리 손군' 동아일보
1936.8.25



世宗路に面した旧東亜日報社
5階は新聞博物館

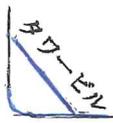
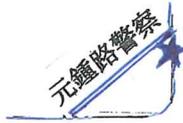
写真左：朝鮮中央日報社が1936年8月13日に、日章旗を消して発行した新聞。普段から印刷が荒いことで有名だったので、総督府は見抜けなかったようだ。

写真右：中央日報を見て東亜日報が日章旗を消して、8月25日に発行した新聞は発行停止処分を受けた。続いて、朝鮮中央日報も停止処分。その後、両新聞とも処分を解除されたが、資金難で朝鮮中央日報は復刊できず廃刊した。写真は新聞博物館で写したもの。



④ スタンダードチャータード銀行 (鍾路警察) 最近まで第1銀行だった。

鍾路 (チョンノ) 警察署というのは、日本統治時代はもともと悪名高い警察として知られ、チョンノの朝鮮人たちを震え上がらせていた。



★このあたりに義烈団・金相玉が1923年1月に義挙した所という碑があった。去年、義挙90周年記念大会が行われた。



⑤ ハンミビル (忠正公・閔泳煥自決跡)

1905年、乙巳条約 (第2次日韓協約・乙巳保護条約・乙巳五条約・乙巳勒約ともいう) が締結され、閔がこれに反対する。上訴が受け入れられないと分かると、閔泳煥は、ここ李完植の邸宅で自決した。自宅は曹溪寺の近く。

長年、昌徳宮の正門左側に、閔泳煥の銅像があったが、現在は郵征総局そばの公園に移されている。



⑥ YMCA (朝鮮中央基督教青年會學校)

YMCAは1906年に発足し、生涯教育発祥の地として1914年に縦長の碑を建てた。植民地にされないようにするにはどうするか。「農村啓蒙運動」が始まり、子どもも大人も勉強して学力をつけなければならないと、若者はソウルのYMCAへ集まり話し合いをした。監視付きの討論会をした2階の大講堂は今も健在。

解放後、碑は横倒しにされたまま40年余、1990年ごろに起こされ、最近ではガラスケースに入れられて説明板が整っている。

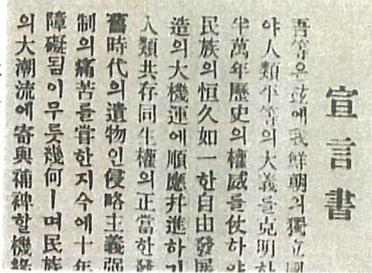
⑥ 泰和ビル (中華料理明月館泰和支店)



1919年3月1日午後2時、明月館泰和支店に集まる予定をしていたメンバー33人のうち、29人の姿しか見えない。あとの4人は?

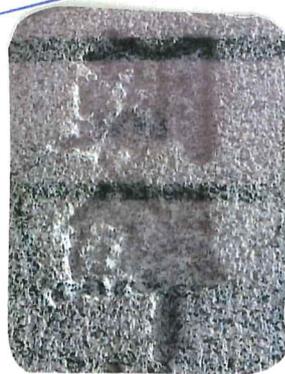
この場所で、独立宣言書を朗読公表して総督府に連絡、逮捕された。タブコル公園で独立宣言書を読み上げたのは、鄭在鏞 (倣新学校卒業生) だった。

独立宣言書の起草は、詩人・ジャーナリスト・歴史家である崔南善が任された。



独立宣言書を印刷したのは ⑩普成社で 団地の中に碑がある。

その近く、郵政路に面して⑨甲申政変・郵征総局址がある。政変を起こした開化派の一人、金玉均は日本に亡命し、青山霊園に墓がある。遺墨なども日本で見つかっている。



歴史散歩が終わったところで 野外カフェコーナーへ。碑の前にあり、落ち着くところです。

